

地域医療連携室

フレンディーだより

Community medicine cooperation room



感染予防対策に関する研修会の風景



2007
vol. **22**

H19.1 発行

黒部市民病院 黒部市三日市1108-1

E-mail : friendly@med.kurobe.toyama.jp

病院紹介

岩井整形外科医院

院長 岩井 義信

当院は、平成4年7月に19床の有床診療所として開業しました。整形外科手術療法とリハビリ治療に重点をおいて診療を行ってきました。これまで黒部市民病院、フレンディーの皆様には、大変なご協力をいただき感謝申し上げます。

平成10年には一人医療法人とし、リハビリ棟を増設し、MRI装置を導入しました。平成16年4月から、院外処方箋を発行しました。現在は、医師1名、看護師8名、放射線技師1名、リハビリスタッフ5名、事務員4名、運転手2名、給食・清掃職員6名で日常業務を行っています。年間手術200件余りを行っています。腰椎手術、手の外科手術、骨折手術等を行わせてもらっています。医学教育を受けた恩を、手術療法で返そうと思ったからです。

最近、身の程を自覚し、医療安全の視点から、リスクの高い患者さんは黒部市民病院に紹介してもらうようにしています。かわりに、骨密度測定器、血圧脈波検査装置、リハビリ機器、MRI装置を使って、骨粗鬆症、動脈硬化症、運動器不安定症、認知症等に力を入れていこうと思っています。

医の倫理綱領には「医学および医療は、病める人の治療はもとより、人々の健康の維持もしくは増進を図るもので、医師は責任の重大性を認識し、人類愛を基にすべての人に奉仕するものである」とあります。しかるに、今の風潮は、効率優先、経済優先でギスギスした社会になってきていると感じます。医療に効率を求めすぎると、人間性を失う危険があり、もう少し遊びやゆとりのある社会になってほしいと思います。ショートステイ機能を持っている有床診療所は、患者さんにはありがたい存在であると思います。ひとつのゆとりと思います。

地域の病院の先生方には、いつも大変お世話になっており、当院として出来る病診連携には協力をさせていただきたいと思っています。宜しくお願いいたします。



外来診療科目

整形外科
リハビリテーション科

診療時間

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前 9:00~12:00	●	●	●	●	●	●
午後 14:00~18:00	●	●	●	△	●	● ~17:00

※休診日/日曜・祝日・木曜午後

所在地

〒938-0023
富山県黒部市堀高35番地
TEL (0765)52-5500 FAX (0765)52-5525

今話題の感染性疾患について

感染対策委員会
石田みどり医療安全管理室者（副看護部長）

10年来にない勢いで感染性胃腸炎（ノロウイルス）が流行しました。

感染性胃腸炎の主な原因はノロウイルスですが、このウイルスは数個単位で経口から感染します。潜伏期間は1～2日です。主症状は下痢・嘔吐で1～2日で症状改善しますが、高齢者では嘔吐物による窒息死も報告されています。アルコール消毒に抵抗し、0.02%次亜塩素酸ナトリウムに10分以上、もしくは85℃以上の熱湯に1分以上浸漬することで消毒効果があります。感染制御の第一は、石鹸手洗いによる防止です。食事前の石鹸手洗い、食事を準備される人は台所周辺の洗浄と石鹸手洗いを適切に行うことで周囲への感染拡大を防止します。罹ったら下痢が治まるまで学校、職場を休むことが必要です。排泄物からは7日～10日はウイルスが排泄されます。

また、この時期はインフルエンザウイルス感染者と重なる時期です。

新型インフルエンザについて少し述べたいと思います。

冬に流行するインフルエンザウイルスとどう違うのでしょうか？

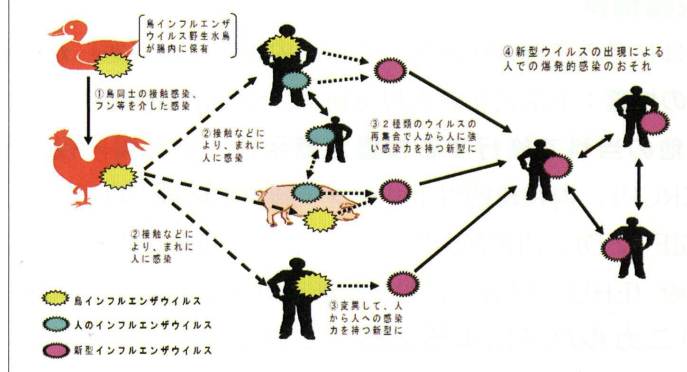
インフルエンザウイルスは呼吸器に限定した感染症状を呈するのに対し、新型インフルエンザは全身性感染となり、多臓器不全状態で死亡する可能性が高い疾患です。

厚生省は新型インフルエンザ襲来に備え抗ウイルス薬を1,000万人分準備すると言っています。大正7年に流行したスペインインフルエンザでは、世界で4,000万人、日本で39万人死亡しています。もし新型インフルエンザがパンデミックになると、人口の25%の人が感染すると予測され、2,500万人が医療機関を受診するといわれています。

新型インフルエンザは10年から40年の周期で流行するといわれています。マスコミは、今にも新型インフルエンザの世界的大流行（パンデミック）が勃発するような報道をしていますが、徐々にその危険性が高まっていることだけは間違いないとしても、それがいつになるか誰にも分からないのです。

これまでに高病原性鳥インフルエンザはタイ、ベトナム、インドネシアなど東南アジアを中心に256名の発症、152名の死亡が確認されています（2006年10月31日現在）。危険度を6段階に分けると、現在は下から3番目のフェイズ3の段階にあり、フェイズ6のパンデミックまでにはまだ余裕があるそうです。新型インフルエンザが登場するとしたら、それは高病原性鳥型インフルエンザ・H5N1型が人から人へとうつりやすいタイプに変身したものとなるでしょう。

鳥インフルエンザと 新型インフルエンザの関係



厚生労働省ホームページ参照

診療科紹介

胃腸科



前列左から（上山本医長、胃腸科スタッフ）
後列左から（東海医員、大幸医員、中浜医長）

①外来担当医師

中浜亨（胃腸科医長）、上山本伸治（胃腸科医長）、大幸英喜（内科医員）、東海浩一（内科医員）、森和弘（外科部長）、佐藤就厚（外科医長）、牧野博（牧野胃腸科クリニック）

②対象疾患

主に消化管疾患（食道、胃、十二指腸、小腸、大腸）、膵疾患、胆道疾患の診療を行っています。
☆肝臓病（慢性肝疾患）は原則的に内科の肝臓外来で診療を行っています。

③外来診療

月曜日から金曜日の8:30から11:00まで診療を受け付けています。

上記以外の時間の緊急の患者様は救急外来での診療を行います。

当日に内視鏡検査（GIF、SF）を希望の患者様は、朝絶食で10時頃までに受付していただければ、当日に検査を行いますので、フレンディーにご連絡ください。

	月	火	水	木	金
1診（主に再診）	上山本	中浜	牧野	森	佐藤
2診（主に初診）	東海	大幸	上山本	東海	中浜

④内視鏡検査

午前は2名の内視鏡検査医（消化器内科医、外科医）が検査を行っています。

午前の検査：上部消化管内視鏡検査、S状結腸内視鏡検査、超音波内視鏡検査（要予約）

その他の当科で施行する検査治療手技：全大腸内視鏡検査（CF）、内視鏡的逆行性膵胆管造影（ERCP）、内視鏡的胃ポリープ・腫瘍切除術（GIF-EP、GIF-EMR）、内視鏡的胃粘膜切開剥離術（GIF-ESD）、内視鏡的胃ろう造設術（PEG）、内視鏡的食道静脈瘤結紮術（EVL）、内視鏡的痔核結紮術（EHL）、肝腫瘍に対する経皮的ラジオ波焼灼術など。

⑤クリニカルパスによる治療について

胃腸科ではクリニカルパスによる入院治療（内視鏡治療）を行っています。代表的なパスでの入院期間などは以下の通りです。

全大腸内視鏡検査 (CF)：外来または2泊3日。原則外来で施行します。高齢の患者様は前日入院で検査後翌日の退院になります。

大腸ポリープ切除術 (CF-EP)：外来または術後1泊入院。ポリペクトミー施行後に1泊入院をしていただきます。10mm以下のポリープを数個のみ切除した場合で出血の危険性が低いと判断される場合は患者様と相談の上で外来で経過観察します。



内視鏡的胃ポリープ切除 (GIF-EP)：4泊5日。対象疾患は主に胃の過形成性ポリープです。

内視鏡的胃粘膜切除術 (GIF-EMR)：6泊7日。対象疾患は主に胃の腺腫です。

内視鏡的胃粘膜切開剥離術 (GIF-ESD)：8泊9日。対象疾患は主に胃の早期胃癌 (粘膜内癌) です。

内視鏡的胃ろう造設術 (PEG)：7泊8日。在宅からの患者様は介護者へのカテーテル操作の指導を行いますので入院期間は延長されます。

出血性胃十二指腸潰瘍：9泊10日。貧血の強さや潰瘍の程度によって、入院期間は短縮されたり延長されたりします。

⑥内視鏡的胃粘膜切開剥離術について

最近の内視鏡分野では、胃粘膜切開剥離術 (ESD) が話題になっています。平成18年4月からは保険適応となり、これまでのスネアーによる粘膜切除術 (EMR) に変わって早期胃癌 (粘膜内癌) の治療として普及してきています。当院では平成17年8月からこの治療手技を導入し、平成18年は年間50例余りの早期胃癌や胃腺腫の症例にESDを施行しました。ESDは比較的大きな病変でも一括で切除することが可能であり、病変の深達度や側方断端や脈管侵襲の有無を正確に病理診断できるので治癒切除かどうかの判断が行いやすく、適切な治療方針が決められます。また、以前は胃切除が必要であった早期胃癌 (粘膜内癌) でもESDによる内視鏡治療で治癒可能な場合もあります。従来のEMRに比べると出血などの合併症を生じる確率はやや高くなり、治療時間も多少長くなりますが、内視鏡学会のガイドライン病変であれば30分ほどで治療可能です (病変が治療しにくい場所であったりガイドラインを越える大きな病変の場合は治療時間が2時間ほどかかる場合もあります)。処置の際にはドルミカムによる静脈麻酔を行い、患者様には完全に眠った状態で治療を受けていただいています。当院では術後3日目から食事を開始し、病理結果で問題がなければ術後1週間ほどで退院となります。退院後は1～2ヶ月間の潰瘍治療が必要です。

⑦経鼻内視鏡についてのお知らせ

平成19年2月から内視鏡センターに経鼻内視鏡 (OLYMPUS GIF-XP260N) が導入される予定です。経鼻内視鏡は径が5.5mmと従来の内視鏡に比べて細く、また鼻からの挿入により嘔吐反射が非常に少ないので患者様の苦痛の軽減が可能と思われます。操作性や前処置などの兼ね合いから、基本的には従来の経口での内視鏡検査を主体に行っていますが、通常の内視鏡検査の苦痛が強い患者様には希望により経鼻内視鏡検査を行います。

内視鏡検査がとて苦手でこれまで敬遠されていた患者様で希望がございましたらご紹介いただければ幸いです。経鼻内視鏡は今のところ1台しかありません。原則予約での検査となりますのでフレンディーにご連絡をお願いいたします。

トピックス

クリスマス プレゼント

去る12月21日（木）ボランティアの方々によるマンドリンの生演奏が行われました。さくらんぼの子供たちや入院されているお年寄りの方々の参加があり、どの方にもこやかな表情で聞き入っておられました。また、Dr.サンタさんの診察に入院中の子供たちは驚いて喜んでいました。



2月1日から敷地内全面禁煙について



平成19年2月1日より
病院敷地内全面禁煙です。
(駐車場も含む)

煙のない、きれいな、病院環境で、
健康を取り戻しましょう。 黒部市民病院

病院の敷地内全て（駐車場も含む）で禁煙を実施することになりました。この取り組みは、市民の皆さんの健康を守ることを使命とする立場から、より安全で快適な療養環境を整えるために行うものです。市民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

なお、敷地内全面禁煙に伴い、禁煙指導の保険診療を3月から行う予定です。希望される方は、内科外来までご相談ください。

講演・勉強会のご案内

1. 新川胸部疾患検討会

日時：毎月第2木曜日
午後6:30～午後8:00
場所：本館3階 指導室

2. オープンベッドカンファレンス

日時：偶数月の第2水曜日
午後6:45～午後7:45
場所：本館3階 指導室

3. 内科カンファレンス

日時：毎週火曜日
午後6:40～
場所：本館3階 指導室